

# 「私はソーシャルワーカー」

今、主任ケアマネージャー研修を終えて思うこと

静岡県 松村 美賀子

先日、静岡県主任介護支援専門員研修の修了証を頂いたばかりですが、かなりのハードな日程でとても忙しい3ヶ月の研修でありました。

講義の内容は以下の通りです。人事経営管理～マネジメントの進め方～では5人の永遠の幸せとは、社員、社員の家族、会社仲間、お客様、地域住民の使命と責任を果たすことの講義がありまして、深く考えさせられました。自分の職場ではどうなんだろうか。現実では出来ていない部分が多いのですが、少しでも近づけていけたら良いなと思っています。幸いにも会社仲間・お客様(利用者)とは上手く関係性が構築できているなど感じている次第です。

一番弱いところは地域住民ではないかと感じています。これは地域福祉活動にも繋がるものだなと思っています。自分が勤めている施設は町内会にも入っています。ただ、グループホームや特養で災害が起きた時に利用者の避難の時には残念ながら、職員だけでは難しい部分があるのではないかと思います。そのようなときに一番地域との関わりが顕著に出てくるのではないかと危惧しております。数ヶ月前の悲劇を繰り返さない為にも、ポツポツ地域との関係性のパイプを太くしていきたいと考えております。

管理者はリードするが、後継者が育ったら、邪魔をしないように身を引かなければならないとおっしゃっていました。後継者を育てるには一定の時間がかかります。それを見届けたら、引き際を間違えないようにしなければならぬとの事。現在はケアマネとして携わっておりますが、後輩の育成にも力を入れていきたいと思い、実務研修で事例検討時ファシリテーター役を担っております。人材は人財であることを忘れずに、お互いに磨きをかけたいと思い、毎年参加しております。

次の主任介護支援専門員の役割と視点の講義では、地域医療のネットワーク化に医療、福祉、介護が包括的に関わらなければならないとのことでした。その為には地域包括支援センターを中心としてケアマネも十分に他職種連携を念頭において仕事をしなければならないとのことでした。

対人援助者監督指導はスーパービジョンの講義や事例報告、実践を交えて行いまして、改めて勉強する機会となりました。

普段何気なくやっているものを意識して、管理機能、教育機能、支持機能、評価のどれに当てはまるか聞けるようになりました。本来ならもっと深く学ばなければならないのかなと思いますが、講義の時間数も限られておりましたので、大まかに講義をなさったと思われます。とても大切な講義のように思いました。

ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理では情報を鵜呑みにするのではなくよく本質を見極めて歪められていないかを確認しなければならないことと、法令遵守を目標にしては何が本質かを見失ってしまうことがあるとのことでした。

日常の仕事においても本質は何か？と頭で整理しながら、業務に携わっています。

地域援助技術の講義では、課題に対してエコマップの作成をし、みんなで持ち寄り、地域の状況の把握と社会資源の活用の方法を話し合いました。障害者の福祉も介護保険とあわせてどのように支援するかを考えさせられました。

ターミナルケアの講義では、4つの痛み(身体的、社会的、精神的、霊的)をどう緩和するかが課題です。全人的な苦痛を家族を含めて支援していくことが大切です。グリーフケアです。最近では核家族化による死別が受け止めきれずにいる方々が増加傾向にあります。業務で携わる中で死別した家族に声をかけるときに気を遣います。死別直後はさほど感じないご家族でも数ヶ月経ってから症状に表れる方がいらっしゃいます。夜も眠れない自律神経が変調をきたしている方を見かけたこともあります。

事例研究及び事例指導方法の講義では、ハーバード方式とインシデント方式の二つの違いと情報収集の仕方についてトレーニングを積みました。スーパービジョンにも大きく関わっていることを改めて認識しました。オブザーバーの役割も大きいことも体験をしました。

リスクマネジメントの講義では、介護支援専門員は極めて無形性が高い為、スーパービジョンも上手く活用していかなければならないこと。ブレインストーミングを活用しての討論が有効とのことでした。

主任介護支援専門員の研修の内容を抜粋いたしました。このような内容は、ソーシャルワーカーとして学んでおかなければならない事でもあるなあと感じながら講義を受けていました。本来ならもっと時間をとって専門的に学ばなければならぬのではないかと思います。養成校レベルのカリキュラムがふさわしいと感じました。

これからは主任ケアマネとして、また、ソーシャルワーカーの立場から、もっと技術を学び、共に仲間と考え、悩み、一緒に解決方向にもっていきたいと思っております。

